

2011年10月3日

富山県知事  
石井 隆一 様

反原発市民の会富山  
代表 藤岡 彰弘  
富山市神通町 3-5-3  
tel. 076-441-7843

### 富山県知事への申し入れ

日頃より、富山県知事として、地域防災に真摯に取り組んでおられること、及び、高い防災意識をもって国へいろいろと要望しておられることに、あらためて敬意を表します。

私たちは、「反原発市民の会富山」です。1980年に会を結成して以来、反原発運動、とりわけ、能登原発に対する反対運動に取り組んで来ました。今年3月に福島で未曾有の原子力災害が起きて以来、私たちは、「反原発県内キャラバン」と称して、能登原発現地に近い自治体から順に、湾岸沿いに県内各自治体を訪ね、「市長への申し入れ」行動を連続的に行って来ました。そしてこの10月上旬には、残りの湾岸沿いの市や内陸部の市町村を含む、県内の全ての市町村自治体を訪ね、「首長への申し入れ」を連続的に行う今年の「キャラバン」を、完了する予定です。

私たちは、この「キャラバン」を通して、各基礎自治体の首長さんや担当者の方と直接お話しすることで、自治体によって多少の温度差はあるものの、志賀原発再稼働に対する不安、国の原子力防災の指針が定まらないことに対する焦燥といったものを、肌で感じました。

このことから、各自治体の取り組みはもとより、市町村を束ねる富山県としても、積極的に行動することが、この際、必要ではないかと考え、次の四点について申し入れます。誠意をもって、対処していただけますよう、お願い申し上げます。

#### 記

1. 原発立地自治体の隣接自治体として、富山県が、志賀原発を所有する北陸電力との間で、安全協定を結ぶことを、北陸電力に求めていくこと。
2. 県内各自治体が、北陸電力との間で、安全協定を結ぶことをサポートすること。具体的には、自治体間で連携して、北陸電力に対しそれを迫ることができるよう、連絡調整等を積極的に行うこと。
3. 原発立地自治体に隣接する自治体の知事として、原発立地自治体である石川県知事と、志賀原発について協議する場を設けること。
4. 国の原子力安全委員会の「防災指針」が確定するのを待っているだけでなく、原子力防災について進んで研究し、県としての暫定的な「指針」を示すこと。